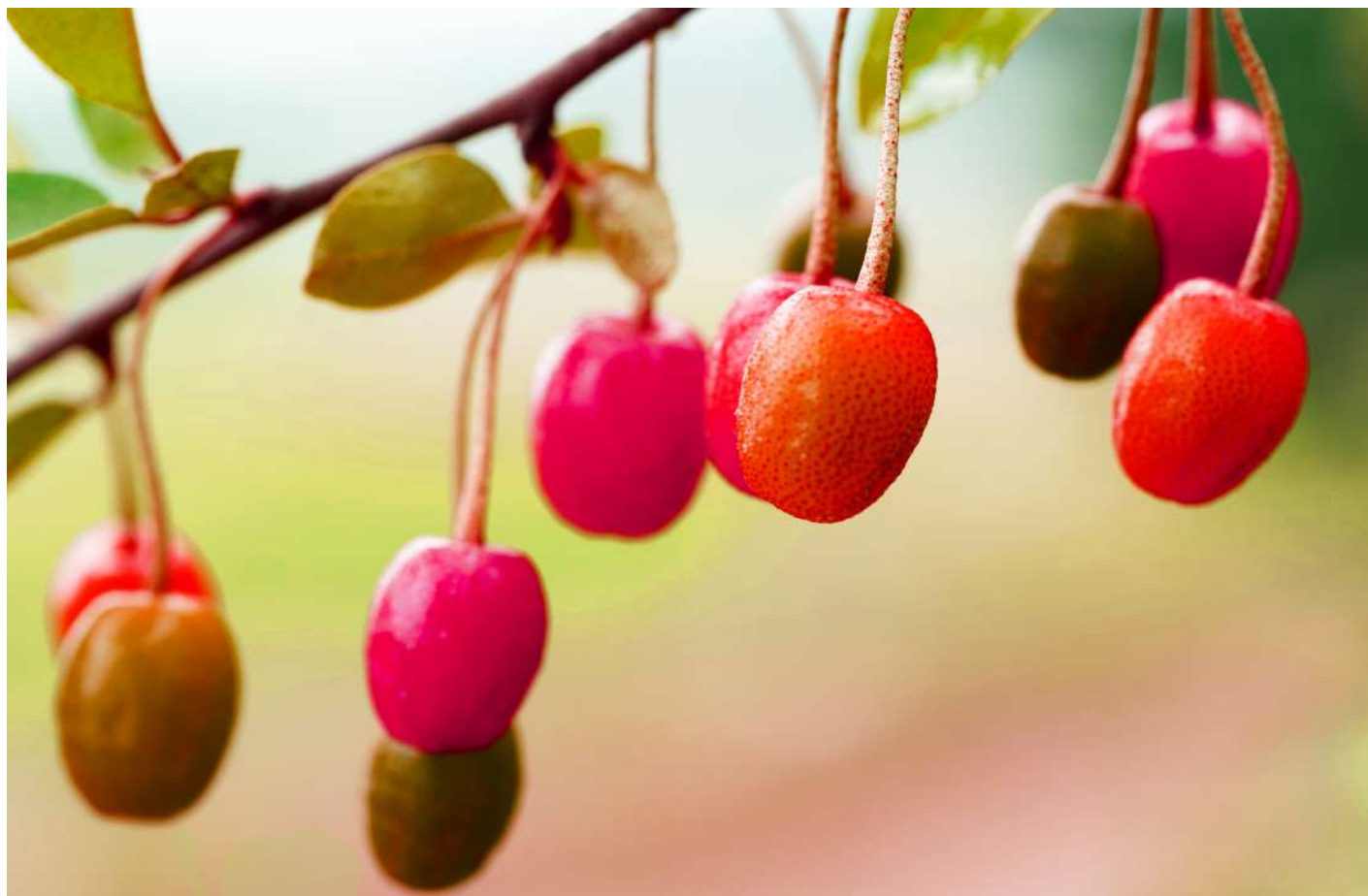


確定拠出年金 ニュースレター

DC Pension Plan
Newsletter

Vol. 32

発行 / 2026年5月



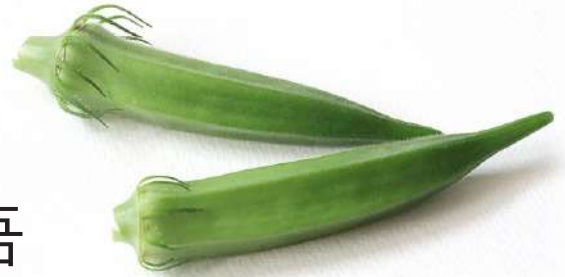
Contents

- | | |
|--|---|
| 1 世界的な株価上昇は
バブルだったのか？
ニッセイ基礎研究所 研究理事 井出 真吾 氏
チーフ株式ストラテジスト
..... P2 | 3 市況レポート 2025年度下期 P8 |
| 2 制度改正で広がる
確定拠出年金の活用
—「上限まで拠出」が最適とは限らない理由
心とお財布を幸せにする専門家 山中 伸枝 氏
..... P5 | 4 継続教育セミナー P12
耳よりコンテンツのご紹介 P12 |
| | 5 コールセンターからのお便利
..... P13 |
| | 6 サービスご利用案内について
..... P15 |

世界的な株価上昇は バブルだったのか？

ニッセイ基礎研究所 研究理事
チーフ株式ストラテジスト

井出 真吾



世界的な株高から一転、 急落した株式市場

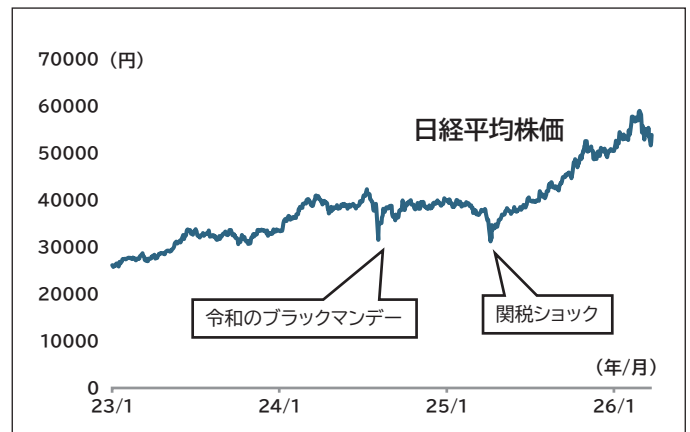
日経平均株価が史上初めて4万円を超えたのは2024年3月だった。当時、筆者は確定拠出年金ニュースレター5月号に寄稿したコラム「日経平均4万円は本当に通過点なのか？」で、「4万円はバブルではない」と分析した。

その後の約2年間には、令和のブラックマンデー（24年8月）、トランプ関税ショック（25年4月）など株価が急落する場面も何度かあったが、いずれも数ヶ月で回復し、上昇基調を取り戻した（図表1）。ややハイペースにも見える世界的な株価上昇に対して、AI（人工知能）バブルを懸念する声も少なくなかったものの、今年2月には日経平均株価が一時6万円に迫る場面もあった。

ところがその直後、米国とイスラエルがイランに対して軍事攻撃を開始すると、金融市場は一変してリスク回避モードになった。原油や天然ガスなど資源価格の高騰は、エネルギーや原材料など幅広い領域で生産・輸送コストの上昇に直結するだけでなく、インフレ再燃を通じて消費や各国中央銀行の金融政策にも影響しうるため、株価への影響が大きい。

実際、米FRB（連邦準備制度理事会）のパウエル議長が3月18日の会見で「利上げの可能性も排除しない」と語ると、株式市場はこの発言をサプライズ的に受け止め、同日の米国株は急落した。さらに翌19日には日本銀行の植田総裁も利上げに積極的な姿勢を見せ、日経平均株価は時間外取引で大きく下落した。

【図表1】2025年の日経平均はハイペースで上昇



（資料）LSEG（ロンドン証券取引所グループ）より筆者作成

世界的な株価上昇は バブルだったのか？

ところで、中東情勢が緊迫化する前の世界的な株高はバ



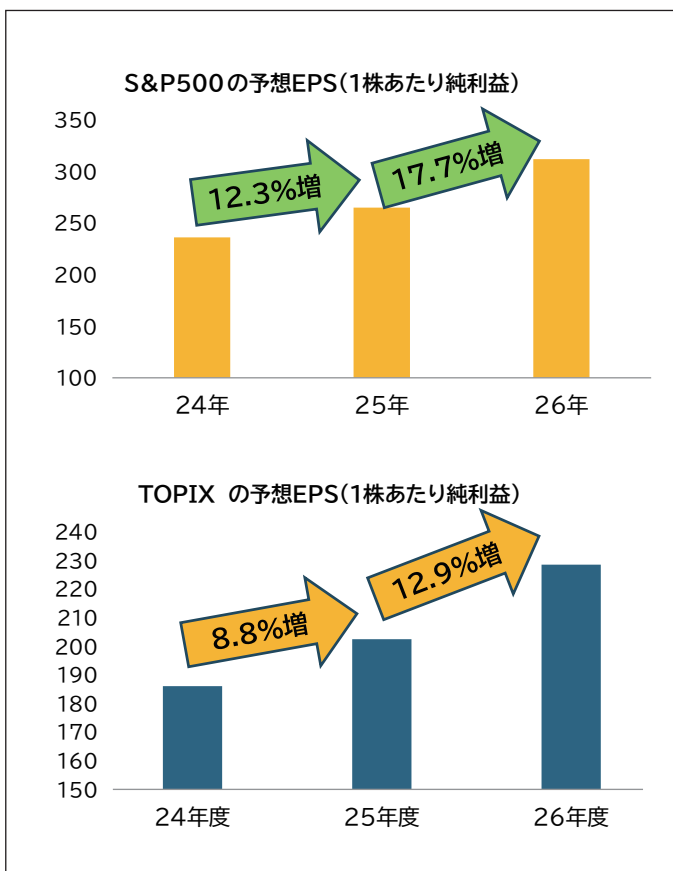
世界的な株価上昇はバブルだったのか？

ブルだったのだろうか。筆者は“やや前のめり気味”だったと思うが、バブルだったとは全く思わない。

そう考える理由を「株価＝EPS（1株あたり純利益）×PER（株価収益率）」の関係式で説明しよう。この式からEPSまたはPERが上昇すると株価が上昇することがわかる。まず、EPSは1株あたり純利益なので、企業業績が改善してEPSが増加すれば株価も上昇し、逆にEPSが減少すれば株価も下落するのは容易に想像できるだろう。

実際のEPSを確認すると、米S&P500やTOPIXベースの予想EPSは大幅増加が見込まれている（図表2）。底堅いグロ

【図表2】業績拡大が株価上昇の原動力



（資料）LSEG（ロンドン証券取引所グループ）より筆者作成

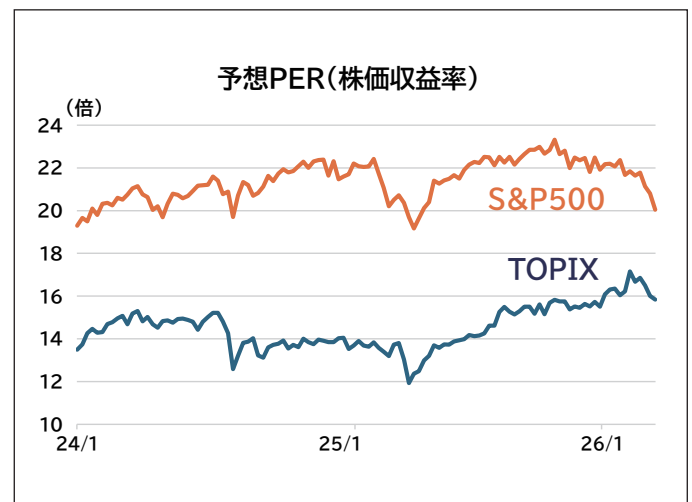
ーバル景気に支えられて、日米とも企業業績は堅調が見込まれているからだ。

一方、先ほどの式は「PER＝株価÷EPS」と変形できるので、PERは「株価がEPSの何倍まで買われているか」という意味になる。投資家が強気なほど（＝1株利益をより高く評価するほど）PERの値が大きくなるので、PERは投資家心理を表すとされる。

バブルとは投資家が極端に強気（楽観的）になった状態を指すが、図表3のとおり、S&P500、TOPIXとも24年と比べて25年はPERがやや上昇した程度にとどまっており、極端に高くなった様子は見られない。もっとも、S&P500のPERが一時24倍に接近したり、TOPIXのPERが17倍程度まで上昇したりしており、先ほど述べたように“やや前のめり”ではあったが、バブルと呼ぶほどではない。

すなわち、今回の株高はAIや高市政策への期待などやや行き過ぎたことは否めないが、企業業績（EPS）の改善が原動力であり、決してバブルではないと考えてよいだろう。

【図表3】株式市場に極端な過熱感は見られない



（資料）LSEG（ロンドン証券取引所グループ）より筆者作成

世界的な株価上昇はバブルだったのか？



中長期的な 上昇トレンドは変わらず

目先は中東情勢で世界景気や企業業績が悪化し、株価が大きく下落する可能性もある。だが、リーマンショック(08年)やチャイナショック(15年)など過去の株価急落局面を振り返ってみても、株価が急落前の水準を回復しなかったことはない。

ましてや中長期的な株価上昇トレンドは何ら変わっていないはずだ。というのも米国によるベネズエラやイランへの軍事攻撃は、政治的・宗教的には複雑な要因が絡み合っているものの、経済的な観点に限ってみれば、世界がG2体制(米国と中国による覇権体制)に向かう中で、中国の影響力を抑えることが最大の狙いとみられる。

そうであれば、善悪は別として、米国の影響力・成長力が一層強まることになり、同盟国である日本も一定の恩恵を受けるだろう。当然、日米の株価の中長期的な上昇トレンドが崩れるとは考えられず、むしろ株価上昇ペースが早まる可能性すらある。

もっとも、中国やグローバルサウスの国々だけでなく欧州諸国も米国との距離を広げる可能性はある。そうした中で日本の立ち位置は難しさを増すばかりだと思われるが、トランプ大統領の任期は残り3年を切り、一足飛びに全世界的な米国離れが進むとも考えられない。国際情勢が一層複雑化している今、従来以上に長期投資の重要性・有用性が高まっている。

Profile



井出 真吾 いで しんご

ニッセイ基礎研究所 研究理事
チーフ株式ストラテジスト

1993年、東京工業大学(現東京科学大学)卒業、日本生命保険相互会社入社。99年、ニッセイ基礎研究所、2026年より現職。専門分野は株式市場・株式投資・マクロ経済・資産形成。

科学的かつ客観的な分析と分かりやすい解説には定評があり、新聞・テレビなどメディア露出多数。日本証券アナリスト協会認定アナリスト。著書に『井出真吾の投資相談室 63のQ&Aでわかる安心運用』(日本経済新聞出版)など。

制度改正で広がる 確定拠出年金の活用

——「上限まで拠出」が最適とは限らない理由

心とお財布を幸せにする専門家 山中 伸枝

確定拠出年金制度は、近年の法改正により大きな転換期を迎えています。拠出できる金額の引き上げや加入可能年齢の延長など、活用の幅は確実に広がっています。しかしその一方で、制度の目的を正しく理解しないまま利用してしまうと、メリットを十分に享受できない可能性もあります。今回は、改正内容を踏まえながら、確定拠出年金を活用する際に押さえておきたいポイントを整理します。

まず、拠出限度額の見直しです。今回の改正は段階的に行われ、2026年4月にはマッチング拠出における「加入者掛金は事業主掛金以下」という制約が見直され、加入者自身の判断で掛金を設定しやすくなります。

そのうえで、2026年12月（実質的には2027年1月拠出分）からの拠出限度額は、自営業者などの第1号被保険者は月75,000円、会社員・公務員などの第2号被保険者は企業型DC・iDeCo共通の月62,000円を基準に再整理されます。

例えば企業年金のない会社にお勤めの方は、iDeCoの掛金上限が62,000円、企業型DC加入の方であれば、マッチング拠出を選んでも、iDeCoを併用しても、いずれもその掛金の合計額の上限が62,000円となります。他制度掛金

がある場合でも、iDeCoの掛金との合算の上限額が62,000円となり、制度の選択にかかわらず、より柔軟な資産形成が可能になります。

確定拠出年金の最大の魅力は、掛金が全額所得控除となる点です。拠出を行うことで所得税・住民税の負担が軽減されるため、「節税をしながら老後資産を形成できる制度」として広く知られています。そのため、拠出可能額が拡大すれば、上限まで積み立てたいと考える方も多いでしょう。

しかしながら、近年の税制改正により、この「節税メリット」の感じ方は人によって異なってきています。いわゆる「年収の壁178万円」の影響により、課税所得がゼロとなりiDeCoの税制メリットが発生しない、あるいは課税所得が低くなることによって限界税率（累進課税の最も高い税率）が下がるケースでは、所得税の軽減効果が減少することがあります。

例えば、以前は年収200万円ほどでもiDeCoの節税メリットがありましたが、今般の改正で給与所得控除、基礎控除が引き上げられたことにより、社会保険料控除を算入すると課税所得がゼロとなってしまうことがあります。住民税



制度改正で広がる確定拠出年金の活用

—「上限まで拠出」が最適とは限らない理由

の基礎控除には変更がないものの、今回の税制改正で、iDeCoの節税メリットが薄らいだと感じる方もいらっしゃるでしょう。

あるいは、一定の所得水準ではこれまで20%の税率で節税効果があった方が、控除の拡大によって課税所得が下がりそれによって10%の税率帯に移行することで、同じ掛金でも節税効果が半減することも考えられます。

確定拠出年金は拠出時だけでなく、受取時にも税制が関係します。一時金または年金、あるいは併用を選択すると退職所得控除や公的年金等控除が適用されますが、資産額がそれらを大きく上回り税負担が想定より大きくなるケースもあります。

次に、iDeCoの加入可能年齢の引き上げについてです。2026年12月(実質的には2027年1月拠出分)からは、一定の条件のもと70歳まで加入が可能となります。これにより、60歳以降も資産形成を継続できるようになり、働き方の多様化に対応した制度へと進化しています。



現行では、国民年金の加入者(任意加入者を含む)や厚生年金加入者(65歳未満の第2号被保険者)は65歳まで加入が可能です。70歳まで加入可能な条件としては、必ずしも公的年金の被保険者である必要はなく、iDeCoを活用した老後の資産形成を継続しようとする者になります。

ただし、iDeCoを継続するにあたっては、iDeCoの老齢給付を受給していないことに加え、老齢基礎年金を受給していないことが加入要件となるため、繰上げ受給をした場合はiDeCoに加入できません。

つまり、iDeCoに継続加入する場合は、老齢基礎年金は繰下げ受給を選択しなければならないということですから、その間老齢基礎年金以外で生活資金をどのように確保するかを事前に検討しておく必要があります。

さらに見落としがちなのが、繰下げ受給の待機期間中に過去に遡って年金を一括受給する場合です。例えば、繰下げ待機中に資金用途が発生した場合、公的年金は65歳まで時間を遡り受け取っていなかった期間の老齢年金を一括で受け取る事が可能です。この時、税金と社会保険料も過去に遡り再計算されます。

iDeCoに70歳まで加入する条件は、老齢基礎年金を受給しないことが大前提ですから、このように年金を遡り一括受給をするとiDeCoの掛金拠出による控除はなかったこととして税金や社会保険料が再計算され、拠出したその間の掛金も返金されることになります。

このように、確定拠出年金は制度改正により一層使いや

制度改正で広がる確定拠出年金の活用

—「上限まで拠出」が最適とは限らない理由



すくなっていますが、「拠出上限まで掛金を引き上げること」「加入可能年齢上限まで継続すること」が必ずしも最適な選択とは限りません。節税効果、将来の受取方法、他の資産とのバランスなどを総合的に考えることが求められます。

制度を最大限活用するためには、「部分最適」ではなく、ご自身のライフプラン全体を踏まえた「全体最適」の視点が欠かせません。制度を使うこと自体が目的ではなく、将来の安心につながる形で活用することが重要です。必要に応じて専門家の意見も参考にしながら、ご自身にとって最適な確定拠出年金の活用方法を検討していきましょう。



山中 伸枝 やまなか のぶえ

www.nobueyamanaka.com

心とお財布を幸せにする専門家 ファイナンシャルプランナー (CFP®) 社会福祉士
株式会社アセット・アドバンテージ 代表取締役 asset-advantage.com

FP相談ねっと 代表 fpsdn.net

一般社団法人公的保険アドバイザー協会 理事 siaa.or.jp

1993年米国オハイオ州立大学ビジネス学部卒業後メーカーに勤務。これからはひとりひとりが、自らの知識と信念で自分の人生を切り開いていく時代と痛感し、お金のアドバイザーであるファイナンシャルプランナー (FP) として2002年に独立。年金と資産運用、特に確定拠出年金やNISAの講演、ライフプラン相談を多数手掛ける。
執筆：金融庁サイト 有識者コラム連載、50歳を過ぎたらやってはいけないお金の話 (東洋経済新報社)、ど素人が始めるiDeCo (個人型確定拠出年金) の本 (翔泳社) 他

Profile



日本経済

当半期(2025年10月～2026年3月)の日本経済は、設備投資や個人消費など民間内需の拡大が寄与し、2025年10-12月期の実質GDP成長率は前期比年率+1.3%となりました。

2026年1-3月期の経済成長率についても、前期比年率+1.3%程度のプラス成長となった模様です。米国経済が底堅く推移していることを背景に、輸出が緩やかに持ち直したほか、物価上昇の鈍化に伴い実質賃金がプラスに転じたことが、景気を下支えしたとみられます。

経済協力開発機構(OECD)が3月26日に発表した日本の経済成長率は、堅調な企業収益や設備投資の拡大が期待されるものの中東情勢の悪化などから2026年が前年比+0.9%、2027年が同+0.9%の予測となっており、2025年の同+1.2%から減速する想定です。

消費者物価上昇率については、2026年が前年比+2.4%、2027年が同+1.9%の予測となっており、2025年の同+3.2%からの減速が続く見通しです。

足元の原油価格の高騰についてOECDは、石油や液化天然ガス(LNG)の大半を中東地域に依存するアジアへの影響が大きいと指摘しており、原油価格の高止まりで日本の物価上昇率が押し上げられ、経済成長率が下振れする可能性があります。

世界経済

当半期(2025年10月～2026年3月)の世界経済は、トランプ関税による景気悪化が懸念されたものの、米国を中心とした人工知能(AI)関連投資の拡大などを背景に、底堅い成長を維持した模様です。

OECDの3月時点の予測によると、2026年の世界経済成長率は、中東情勢の悪化などを背景に前年比+2.9%とされており、2025年の同+3.3%からの鈍化が見込まれています。2027年については、同+3.0%の成長予測となっています。

2026年の20か国・地域(G20)の消費者物価上昇率は、中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格の上昇を踏まえ、前年比+4.0%と予測されており、2025年の同+3.4%から加速する見通しです。2027年には同+2.7%へと鈍化する見通しです。

OECDによる今回の成長率・物価見通しは、エネルギー価格が2026年半ば以降、徐々に低下することを前提としています。一方で、エネルギー価格が高止まり、またはさらに上昇する場合には、インフレ圧力が一段と強まり、世界経済は下振れリスクをさらに抱える可能性があるとの見方も示されています。



市況レポート

2025年度下期

国内株式・債券



■ 国内株式

TOPIX (配当込み) 6,229.53 (前半期末比+12.78%)

当半期(2025年10月～2026年3月)の国内株式市場(TOPIX(配当込み))は大幅な上昇となりました。

国内株式は、人工知能(AI)関連需要の拡大や、新政権による経済・財政政策への期待感を背景に、期初から上昇基調で推移しました。その結果、2月末にはTOPIXおよび日経平均株価が史上最高値を更新しました。

一方、3月に入ると中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格の急騰を受けてインフレ懸念が強まり、株式市場は調整局面を迎えました。3月単月では10%を超える下落となりましたが、2月までの5カ月間にわたる堅調な上昇が寄与したことから、当半期全体で見ると、TOPIX(配当込み)は12.78%の大幅上昇となりました。

■ 国内債券

NOMURA-BPI 総合 330.41 (前半期末比-3.84%)

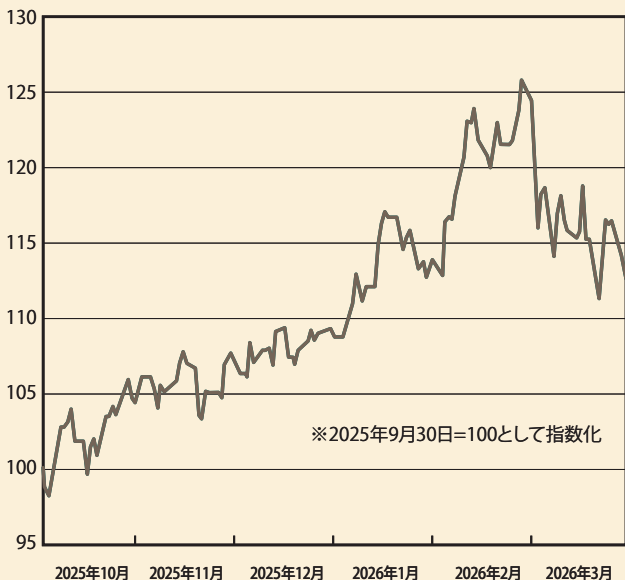
当半期(2025年10月～2026年3月)において、国内債券市場は下落基調となり、NOMURA-BPI総合はマイナスのパフォーマンスとなりました。

半年間を通じてすべての年限で金利が上昇し、それに伴い債券価格は下落しました。金利上昇の主な要因としては、日本銀行による追加利上げ観測の高まりや高市新政権下での財政拡張方針を背景とした国債増発懸念などが挙げられます。

加えて、3月には中東情勢の緊迫化を背景とする原油価格の上昇を受けてインフレ懸念が強まり、世界的に金利が上昇しました。この影響を受け、国内債券市場にも下押し圧力がかけられました。

代表的な指標である長期金利(10年国債利回り)は、2025年9月末の1.65%から2026年3月末には2.35%へと大幅に上昇しました。これらの結果、当半期のNOMURA-BPI総合は3.84%の下落となりました。

★TOPIX (配当込み)



期間: 2025年9月30日～2026年3月31日
出所: ブルームバーグデータをもとにSBI証券が作成。

★10年国債利回り 単位:%



期間: 2025年10月1日～2026年3月31日
出所: ブルームバーグデータをもとにSBI証券が作成。

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

市況レポート 2025年度下期

海外株式・債券



■ 外国株式

MSCIコクサイ(配当込み・円ベース) 10,908.21 (+6.98%)

当半期(2025年10月～2026年3月)の外国株式市場(MSCIコクサイ(配当込み・円ベース))は上昇となりました。

外国株式市場の代表的市場である米国株式市場は、世界的な人工知能(AI)関連投資の拡大を背景に、AI関連銘柄を中心とした良好な企業業績が追い風となり、2025年末までは上昇基調が継続しました。

その後は、大型ハイテク株を中心に、AI関連投資の持続性に対する懸念などから調整局面を迎えました。さらに3月に入ってから、中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格の急騰によりインフレ懸念が強まり、世界の株式市場は下落基調となりました。

一方、外国為替市場では米ドルおよびユーロが対円で上昇し、これが外貨建て資産の円ベース評価を押し上げる形でプラス要因となりました。これらの結果、当半期のMSCIコクサイ(配当込み・円ベース)は6.98%の上昇となりました。

■ 外国債券

FTSE世界国債インデックス(日本除く・円ベース) 672.67 (+7.93%)

当半期(2025年10月～2026年3月)の外国債券市場(FTSE世界国債インデックス(日本除く・円ベース))が上昇となりました。

米国では、労働市場の減速を背景に利下げ観測が高まり、金利が低下する局面も見られました。しかし、3月に入ってから中東情勢の緊迫化を背景としたインフレ懸念の高まりを受けて金利が上昇しました。この結果、半年間を通して見ると米国の長期金利は上昇し、債券価格にとってマイナス要因となりました。

ユーロ圏においては、2月までは長期金利が低下基調で推移していましたが、イラン情勢の緊迫化によるインフレ懸念を背景に、3月に金利が急上昇しました。その結果、半年間では長期金利は上昇しました。

一方、外国為替市場では米ドル、ユーロ、中国元、英ポンドが対円で上昇し、円ベースでの評価において大きなプラス要因となりました。これらを背景に、当半期のFTSE世界国債インデックス(日本除く・円ベース)は7.93%の上昇となりました。

★MSCIコクサイ(配当込み・円ベース)



期間：2025年9月30日～2026年3月31日
出所：ブルームバーグデータをもとにSBI証券が作成。

★米国10年国債利回り 単位：%



期間：2025年10月1日～2026年3月31日
出所：ブルームバーグデータをもとにSBI証券が作成。

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家で自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

市況レポート 2025年度下期

外国為替市場



■ 為替市況

当半期（2025年10月～2026年3月）の米ドル・円相場は、2025年9月末の1ドル＝148円88銭から、2026年3月末には159円88銭へと上昇しました。

2025年10月に発足した高市政権の経済・財政政策を巡り、財政拡張的な政策運営への思惑が強まったことから、円安・米ドル高圧力が高まりました。

2026年に入ってから、日銀の追加利上げ観測を背景に、一時的にドル安・円高となる場面も見られましたが、3月に入ると中東情勢の緊迫化を受けて、安全資産とみなされる米ドルが主要通貨に対して上昇しました。

これらの結果、当半期を通じて見ると、米ドル・円相場は7.4%の円安・米ドル高となりました。

は183円41銭となりました。

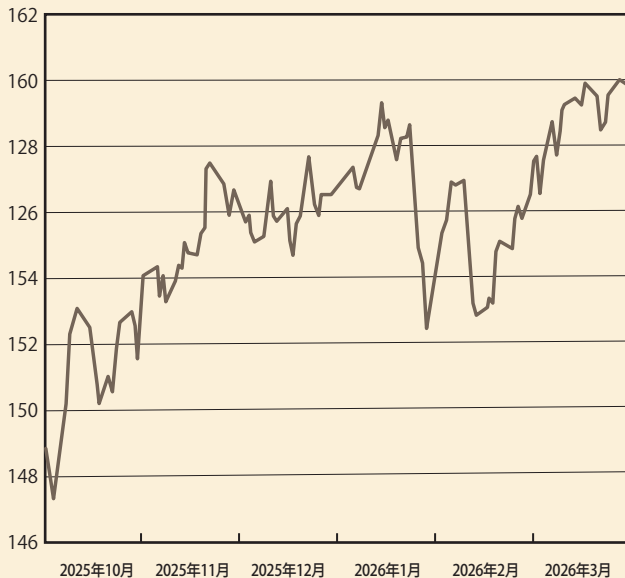
高市政権の財政拡張的な経済・財政政策を背景に、円安・ユーロ高圧力が強まりました。2026年2月以降は、ユーロ圏におけるインフレ懸念の高まりや日銀の追加利上げ観測などを受けて、ユーロの上昇が伸び悩む場面も見られましたが、当半期全体では円安・ユーロ高基調が続きました。

これらの結果、当半期のユーロ・円相場は5.1%の円安・ユーロ高となりました。

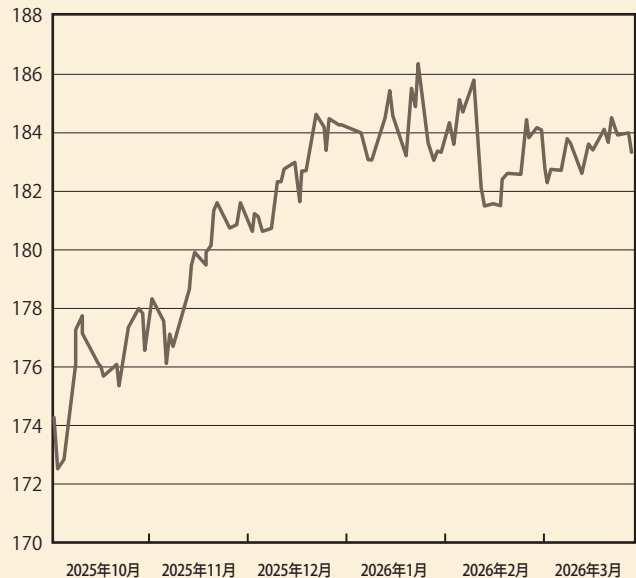
当半期（2025年10月～2026年3月）のユーロ・円相場は、2025年9月末の1ユーロ＝174円47銭から、2026年3月末に

（SBI証券 投資情報部）

★ドル・円



★ユーロ・円



期間：2025年9月30日～2026年3月31日 出所：三菱UFJ銀行の対顧客外国為替相場データをもとにSBI証券が作成。

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

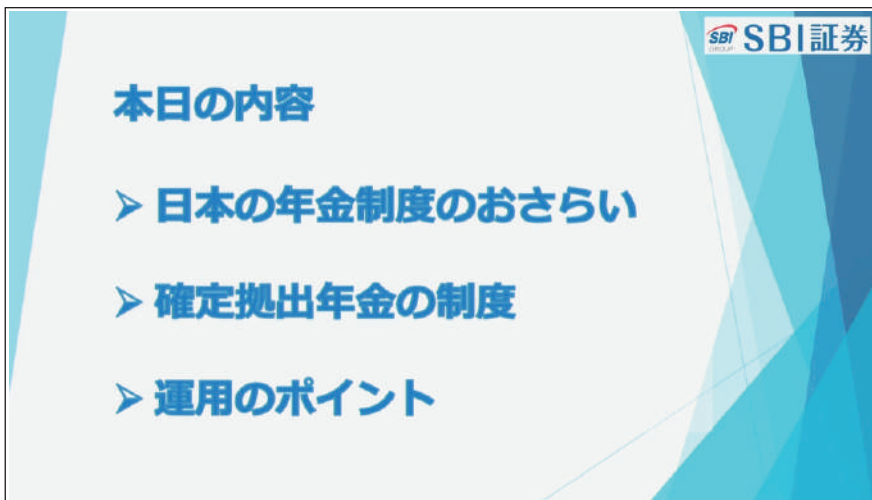
継続教育セミナー + 耳よりコンテンツのご紹介



継続教育セミナー

「制度と運用のおさらい」(約15分)

<https://www.youtube.com/watch?v=00w6WfGo0I0> (YouTube限定公開)



確定拠出年金制度とその運用について、SBI証券の担当者が分かりやすくご説明します。

確定拠出年金の運用では、投資の三原則、特に分散投資をきちんと考えて実践することが大切です。皆さまからよくいただくご質問をもとに、意外と知らない運用の基礎について、分かりやすく凝縮しました。

確定拠出年金の資産をほったらかしにしたり、なんとなく運用商品を選んでいたりしませんか？長く付き合う確定拠出年金だからこそ、計画的に運用して、しっかり資産形成をしたいところ。

本WEBセミナーでおさらいをして、定期的にご自身の運用状況をチェックしましょう。

耳よりコンテンツのご紹介



① SBI証券のおトクな情報を随時発信中!

SBI証券では、各SNSでおトクな情報を随時お届けしています。ぜひフォローをお願いします。

■SNS一覧はこちら

https://go.sbisec.co.jp/lp/lp_sns_list_20210721.html



豊富なレポートを無料でお届け! 投資情報メディア

② 豊富なレポートを無料でお届け! 投資情報メディア

当社アナリストによるオリジナルレポートをはじめ、外部の人気アナリストによるレポート等、豊富なラインナップからご利用いただけます。NISAや確定拠出年金などの制度についても連載しています。

<https://go.sbisec.co.jp/media/report/#nisaideco>



③ iDeCoコラム

iDeCoのことはもちろん、確定拠出年金制度やセカンドライフ、マネーライフプランなど、「知っておきたいハナシ」やニュースをSBI証券iDeCoチームがコラムとしてお届けします!

<https://go.sbisec.co.jp/prd/ideco/ide-column.html>





コールセンターからのお便り

パスワードのルール強化と ワンタイムパスワード認証を導入します

お客様により安心してサービスをご利用いただけるよう、
2026年6月21日以降 ログイン時のセキュリティ対策を強化いたします。

① パスワードのルール変更 (すべてのお客様が対象です)

パスワード設定時に使用できる文字の種類や組み合わせに関するルールが変更となります。
長めで複数の文字種を組み合わせた強固なパスワードを用いることで、より安全性が向上します。

項目	これまで	変更後
文字数	6～15文字	10～64文字
使用可能な文字	半角英数字	半角英大文字・英小文字・数字・記号
組み合わせ要件	なし	上記の4種類中3種類以上を使用

※使用可能な記号は以下の通りです。

!"#\$%&'()*+,-./:;
<=>?@[]^_`{|}~`

パスワード設定時のポイント

- ・推測が容易な単純なパスワードは用いない。個人情報や推測されやすい単語は避ける。
- ・複数サービスでのパスワードの使い回しを避ける。

初回ログイン時のお願い

システム変更以降、**初回ログイン時には新ルールに基づいたパスワードへの変更が必要となります。**
画面の案内に沿って、パスワードの変更をお願いいたします。



② ワンタイムパスワード認証の導入 (ご希望のお客様のみ)

多くのお客様からご要望をいただいております、ログイン時のワンタイムパスワード認証を実装いたします。
ログイン時に、加入者コード(ID)とパスワードに加えて、ワンタイムパスワードを入力する仕組みです。
ワンタイムパスワード認証をご利用いただくことで、第三者による不正ログインのリスクを大幅に低減することができます。

「ワンタイムパスワード認証」とは

ワンタイムパスワード認証を設定すると、あらかじめ通知先として登録されたメールアドレスもしくは携帯電話番号に、ログインのたびに異なる6桁のワンタイムパスワードが通知されます。
通知されたワンタイムパスワードを入力することで加入者サイトにログインできます。
ワンタイムパスワード認証の設定方法につきましては、別途加入者サイトのお知らせに掲載しますのでご参照ください。



⚠ 注意事項

- ※家計簿アプリや会計ソフト等の資産管理ツールとの連携には対応していません。
- ※携帯電話による通知を選択される場合、SMS通知に対応した携帯電話番号のみ登録できます。
- ※入力されたメールアドレスまたは携帯電話番号が、すでに他のお客様の通知先として登録されている場合は、設定できません。

ワンタイムパスワード認証の設定は必須ではありません。設定されない場合でも、これまで通り加入者コード(ID)とパスワードを入力することで加入者サイトにログインいただけます。

コールセンターからのお便り



2026年12月施行予定の法改正について

5～7ページの内容にもあります通り、2026年12月より

「iDeCo加入可能年齢の引き上げ」「iDeCo・企業型DCの拠出限度額の引き上げ」が予定されております！

※改正内容の詳細につきましては、厚生労働省作成資料「[iDeCoの加入可能年齢の引き上げ](#)」

および「[DC拠出限度額\(令和8\(2026\)年12月～\)](#)」をご確認ください。

※厚生労働省WEBサイト「[2025年の制度改正](#)」にて、その他の改正内容も含め詳細が掲載されております。

今回は、お手続きの窓口についてご案内いたします。



〈iDeCo〉お手続き窓口

iDeCoの掛金拠出に関するお問い合わせ・お手続きは、
ご利用中のiDeCoプランの運営管理機関(受付金融機関)へお申し出ください。

- ◆「iDeCo加入可能年齢」および「iDeCo・企業型DCの拠出限度額」の引上げについて、
具体的な受付開始日や手続きの詳細につきましては現時点では未定です(2026年4月時点)。
お問い合わせをいただいた時点でご案内可能な範囲での説明となりますので、あらかじめご了承ください。
※**老齢基礎年金やiDeCoの老齢給付金を受給されるとiDeCo加入(掛金拠出)は出来ません。**

■SBI証券iDeCoオリジナルプラン、SBI証券iDeCoセレクトプラン、SBIつみたて個人型年金規約を
ご利用中の方は、以下までお申し出ください。

SBI証券iDeCo (オリジナルプラン セレクトプラン)	0120-581-214 ※平日および土曜日、日曜日(年末年始・祝日を除く)8:00～17:00 ※携帯電話からは0570-065-214をご利用ください。 ※国際電話、IP電話からは03-5562-7560をご利用ください。 ※土曜日、日曜日は新規加入のお問い合わせのみ承ります。 ※お問い合わせの際はご加入中のプラン (オリジナルプラン、セレクトプラン)をお伝えください。
SBIつみたて 個人型年金規約	手続仲介者へお問い合わせください。 手続仲介者をご不明な場合は、加入者コード(ID)もしくは基礎年金番号をご用意の上、 SBIベネフィット・システムズ(0120-652-401 平日10時～18時)へお問い合わせください。 ※国際電話等、上記お電話が繋がらない場合は、03-6435-5522をご利用ください。

※ご利用中のプランは、加入者サイトへログイン後、左上の表示でご確認いただけます。
(SBIつみたて個人型年金規約は「SBI Benefit Systems」と表示されます。)



〈企業型DC〉掛金額変更をご希望の場合

企業型DCの掛金額変更につきましては、規約によって加入者様の任意の変更が制限される場合がございますので、
お勤め先の人事担当者様へご確認ください。

サービスご利用案内について



加入者サイト

<https://www.benefit401k.com/customer/>

加入者サイトから確定拠出年金の資産残高を確認することや、掛金の配分変更やスイッチングをすることができます。また給付金の種類や受取方法について解説した「給付金ガイド」もご確認ください。ぜひご利用ください。

WEBからのお問い合わせ

加入者サイトにログインいただきますと、以下のサービスがご利用いただけます。

- チャットサポート…… AIチャットボットが自動応答でご案内します。
- よくあるご質問…… お問い合わせの多いご質問とその回答をご紹介します。
- お問い合わせフォーム…… 専門のオペレーターがご質問にお答えします。

「チャットサポート」と「よくあるご質問」はメンテナンス時を除き年中無休で24時間ご利用可能です。



電話でのお問い合わせ

コールセンターオペレーター対応

皆さまからのお問い合わせに対して、専門のオペレーターによる迅速な対応が可能な体制を整えています。

加入者専用
コールセンター

ろうこに(老後に)
0120-652-401
電話番号のかけ間違いにお気をつけください

月曜日～土曜日 10:00～18:00
(祝日、年末年始、弊社指定のメンテナンス日等除く)



- ※お手元に加入者コードをご準備の上お問い合わせください。
- ※土曜日は加入者サイトに関するお問い合わせのみのお受付となります。
- ※国際電話等、お電話がつかない場合は **03-6435-5522** までご連絡ください。

■提供される情報は、万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。掲載されている事項は、企業年金等の一般に関する情

報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。

■掲載記事・内容はご加入者(加入検討中の方を含める)を対象としております。

■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、ご意見等は当資料作成時点のものであ

り、今後予告なく変更されることがあります。

■当資料は、確定拠出年金に関する情報等をお知らせする為にSBIベネフィット・システムズ(株)により作成されたものです。

掲載記事・内容の無断転用・転載はお断りいたします。

編集後記

先日、数年ぶりにあるアーティストのコンサートに行ってきました。集大成を飾る記念すべき公演だったこともあり、そのパフォーマンスは以前にも増して洗練され、光り輝いていました。時代の変遷を感じながら、非常に充実した「推し活」を行うことができました。

「推し活」という言葉を近年よく耳にしますが皆さんは「推し活」、されていますか？

「推し」というとアイドルやアーティストを連想してしまいがちですが、ヒトだけでなくモノ・コトなど何か夢中になれるもの、興味をもてるものが「推し」に定義されると思います。

個人的にも「推し活」の効果は偉大だと捉えており、経済だけでなく自身の健康にも良い影響をもたらします。充実した気持ちになる、いわゆるウェルビーイング(ここでは自身が「良い状態」であることを指したいと思います)であることに繋がります。この状態を維持するための要素について、資産形成の観点から考えてみたいと思います。貯蓄や投資などの活用により今後の自身の未来を良い状態で迎えることができるのではないのでしょうか。心も体も豊かにウェルビーイングであり続けることに関連すると考えます。このように資産形成で自身の未来もしっかり「推し」ていきたいものです。

本号もお読みいただきありがとうございました。(編集部員K)